

平成29年度事業報告

I 施設の概要

1 施設概要

施設種別	医療型障害児入所施設
敷地面積	2,863.42 m ²
延床面積	3,021.45 m ²

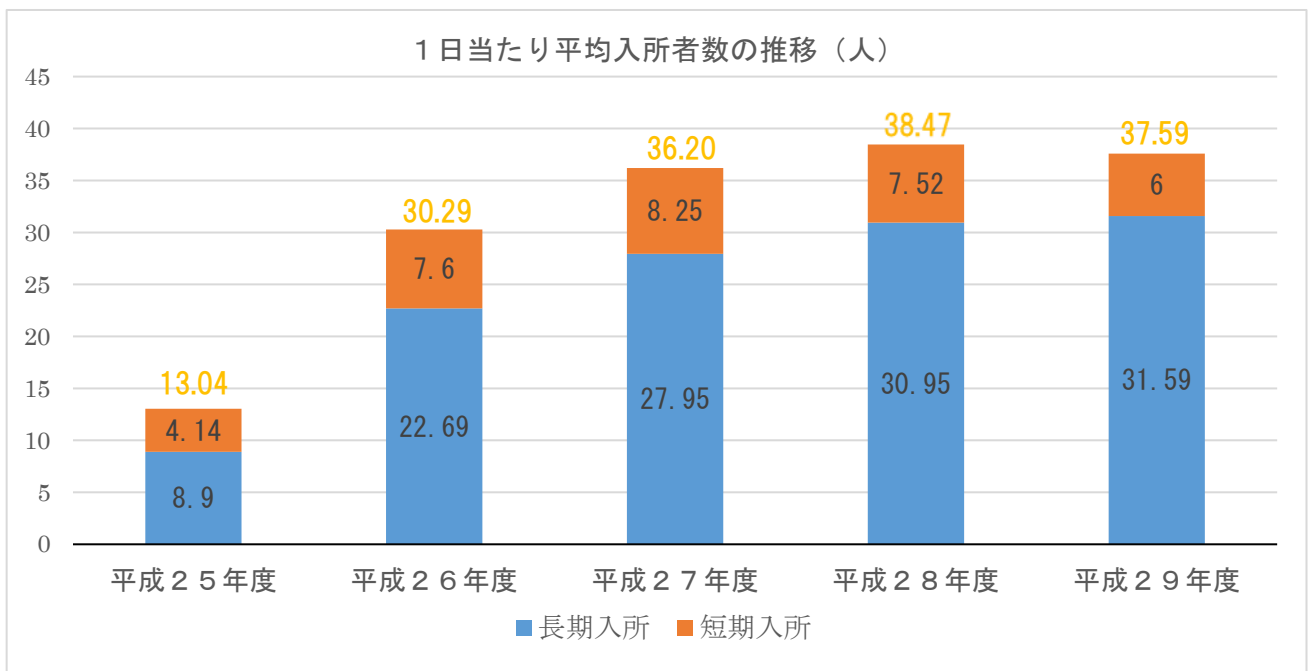
2 事業内容

医療型障害児入所（医療法及び児童福祉法）	定員41人
医療型短期入所（障害者総合支援法）	定員3人+空床利用
医療型特定短期入所（障害者総合支援法）	「おひさまルーム」として運営
外来診療及び外来訓練（医療法）	

II 事業の実施概況

1 入所者数の推移

- 平成29年度の1日当たり平均入所者数は、長期入所31.59人、短期入所6.0人の合計37.59人となった。ベッド数44床に対する稼働率は85.4%であった。
- 平成28年度の実績を若干下回る結果となったが、これは短期入所者が前年度に比し1日平均で1.52人減少した影響によるものである。



2 長期入所

(1) 長期入所者の状況

- ・ 平成30年3月31日現在の長期入所者数は33人(男性20人、女性13人)で、入所形態は、措置入所4人、契約入所28人、一時保護入所1人である。
- ・ 居住地別では埼玉県居住者が19市町27人、東京都居住者が5区市6人である。また、埼玉県居住者の地域別では西部地域12人(川越市、所沢市各3人など)、北部地域4人、南部地域4人などとなっている。
- ・ 当施設の大きな特色として、医療重症度の高い児童をより多く受け入れており、人工呼吸器装着者25人、胃・腸ろう造設者20人、経鼻栄養実施者11人となっている。

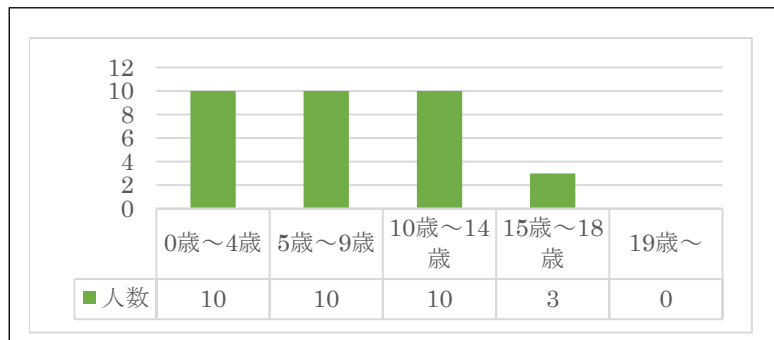
長期入所者の状況

平成30年3月31日現在

【入所者数】

合計	33人	男	20人	女	13人
----	-----	---	-----	---	-----

【年齢別】



【入所形態別】

措置入所	4人	契約入所	28人	一時保護	1人
------	----	------	-----	------	----

【居住地別】

埼玉県	27人	19市町	西部12(川越市3、所沢市3、飯能市1、入間市1、富士見市2、東松山市1、川島町1)、南部4(川口市2、和光市1、朝霞市1)、さいたま市1、県央3(上尾市2、鴻巣市1)、北部4(行田市1、熊谷市1、深谷市1、本庄市1)、東部3(春日部市1、久喜市1、蓮田市1)
東京都	6人	5区市	板橋区2、世田谷区、港区、足立区、東村山市

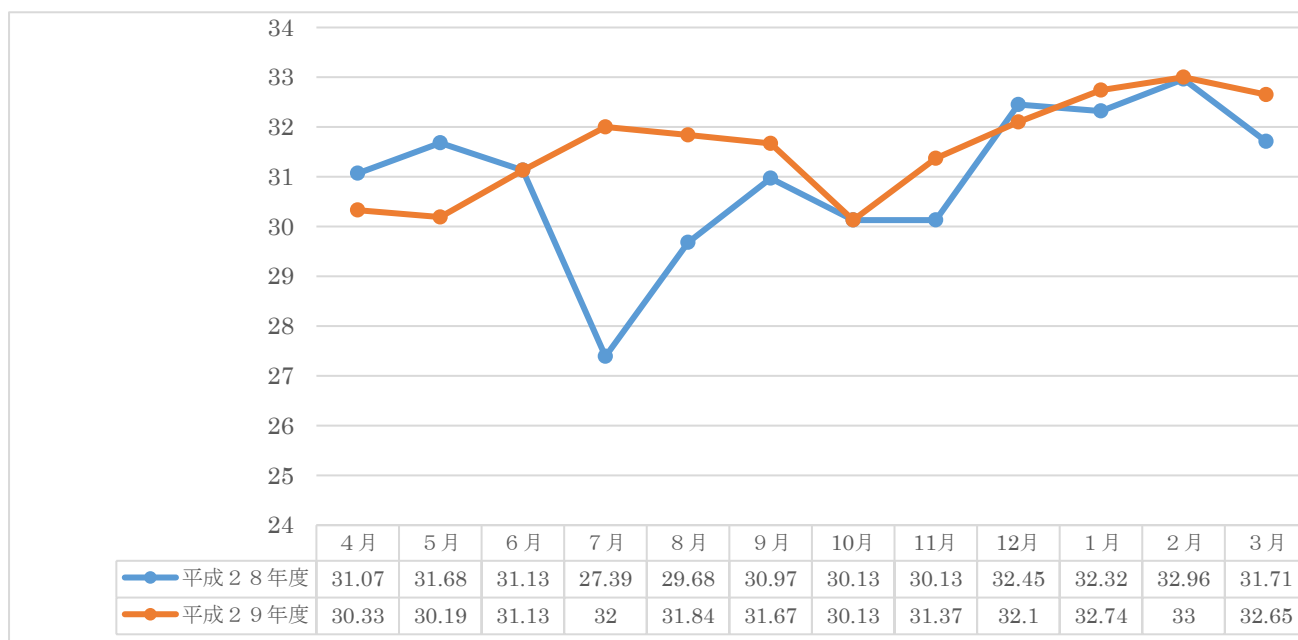
【呼吸・栄養の状況】

人工呼吸器	25人	胃・腸ろう	20人	経鼻	11人
-------	-----	-------	-----	----	-----

(2) 1日平均入所者数の推移

- 平成29年度の1日当たり平均入所者数は31.59人で、平成28年度の30.95人に比べて0.64人の増加となった。
- 長期入所の受入れに当たっては、短期入所の受入れ状況を踏まえつつ、入所希望児の症状、療養環境、緊急性などを総合的に勘案して行っている。平成29年度中に新たに受入れた児童は4人、退所した児童は3人であった。
- 重症度の高い児童を受け入れていることから、病状悪化による管理病院への転院による一時的な入所減が発生することなどにより、毎月の入所者数は必ずしも安定しない状況にある。

1日平均入所者数の推移（人）



(3) 入所者の療養生活

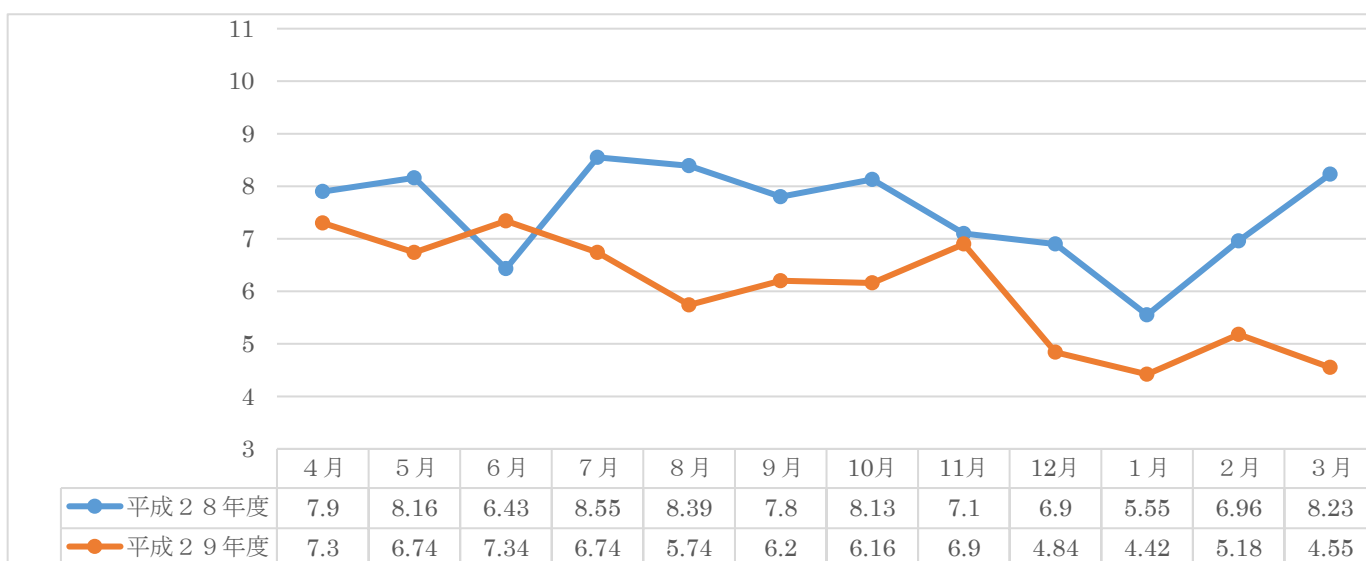
- 日常生活支援の中で、子ども一人ひとりの個性を尊重し、その子にあった成長・発達ができるよう看護・療育活動を行った。
- 子どもたちの「学ぶ権利」「参加する権利」を尊重し、学校活動の支援や四季の行事・活動を看護と療育が協働して行っている。
- 主な行事・活動
西武ライオンズ慰問（5月）、プール活動（7・8月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、誕生日会（毎月）、特別支援学校との連携による入学式・卒業式、運動会・文化祭などを行った。

3 短期入所・短期利用

(1) 1日平均短期入所者数の推移等

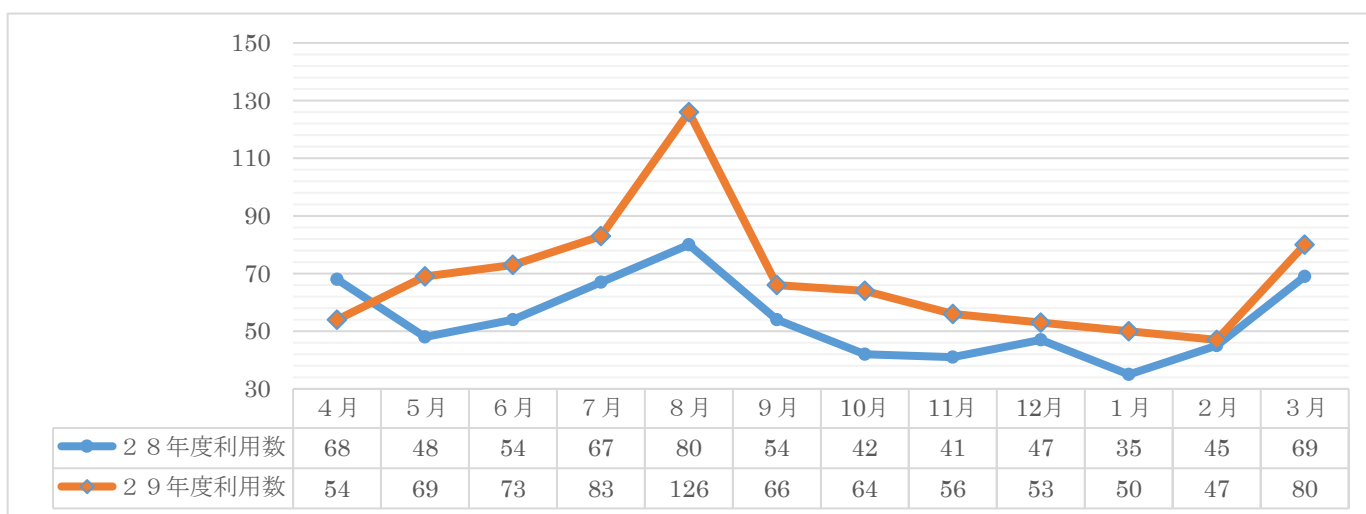
- 1日当たり平均入所者数は6.0人で、平成28年度に比し1.52人減少した。これは、平成29年12月に発生したインフルエンザにより、受入れのキャンセル及び停止を行ったことによる影響が大きな要因である。
- 今後とも、社会資源としてのベッドの有効活用を進めるとともに、安定的な経営を確保する観点からも適切な水準の受入れに努めていく。

1日当たり平均短期入所者数の推移（人）



(2) 特定短期（おひさまルーム）の利用状況

- 1か月当たりの利用者数は68.4人（28年度54.2人）、稼働1日当たりの平均利用者数は3.38人（平成28年度2.67人）を大きく上回る受入れを行うことができた。
- これは、夏休みや学校行事がある際に、できる限り保護者のニーズに応えるため、職員体制を強化するなどして柔軟な受け入れを行ったことによるものである。



(3) 短期利用者の状況（特定短期利用者を含む）

- ・ 特定短期を含めた短期利用者は、利用実人員106人、利用延べ日数2,973日で、うち判定基準のスコア25点以上の超重症児の利用実人員は31人、利用延べ日数は955日であった。
- ・ 居住地別では、県内27市町から利用があり、市町別の利用延べ日数及び利用実人員は、川越市630日22人、さいたま市587日17人、上尾市376日13人などとなっている。

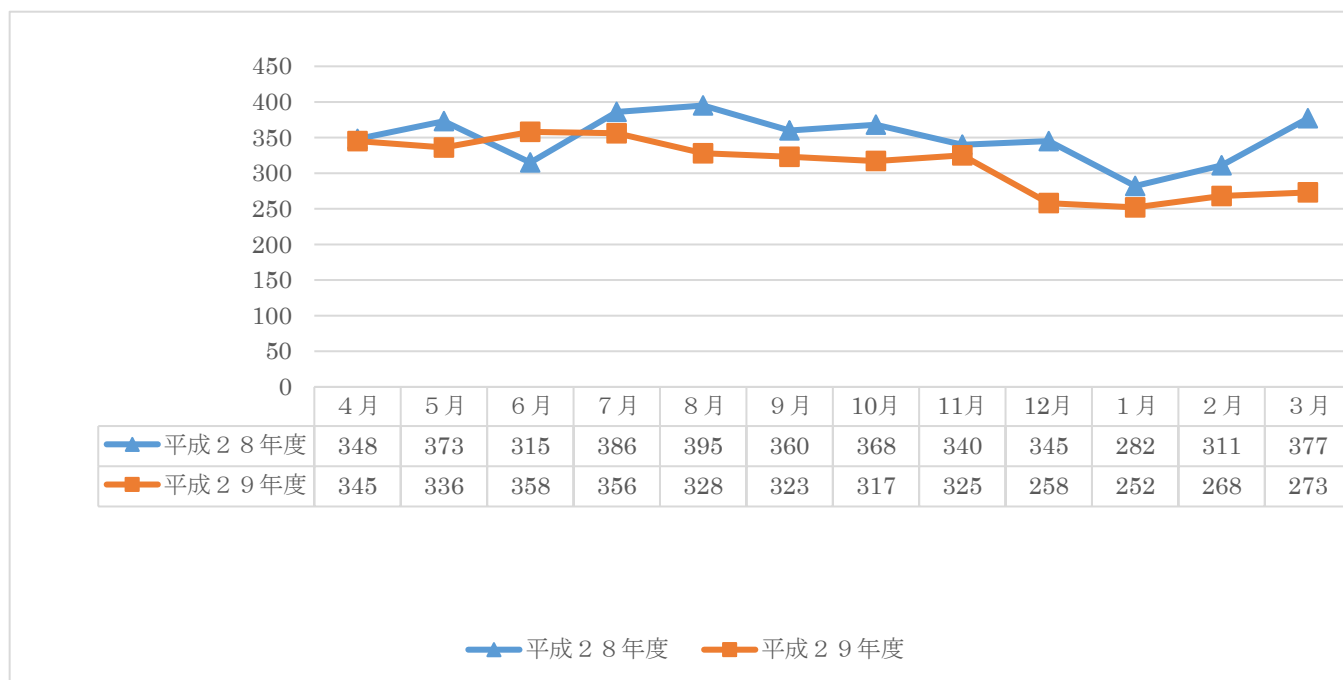
平成29年度 短期利用者（特定短期含む）の状況

地区	番号	市町村名	利用実人員	利用延べ日数	うちスコア25以上の人員	左の利用延べ日数	地区	番号	市町村名	利用実人員	利用延べ日数	うちスコア25以上の人員	左の利用延べ日数	
西部	1	川越市	22	630	7	387	東部	15	久喜市	2	25	1	8	
	2	所沢市	1	16	—	—		16	幸手市	3	107	—	—	
	3	飯能市	1	4	1	4		17	春日部市	1	63	—	—	
	4	東松山市	2	33	1	5		18	蓮田市	1	7	—	—	
	5	坂戸市	2	32	—	—	北部	19	熊谷市	2	49	—	—	
	6	鶴ヶ島市	2	64	1	22		20	深谷市	1	3	—	—	
	7	狭山市	2	10	1	1		21	長瀨町	1	15	—	—	
	8	毛呂山町	1	7	—	—		22	鴻巣市	5	138	2	75	
	東部	9	吉見町	2	107	1	31	中央	23	上尾市	13	376	3	120
		10	富士見市	3	22	1	6		24	桶川市	2	44	—	—
		11	ふじみ野市	6	224	3	117		25	北本市	6	242	1	1
		12	三芳町	2	30	—	—		26	伊奈町	1	32	—	—
東部	13	行田市	1	11	—	—		27	さいたま市	17	587	8	178	
東部	14	加須市	4	105	—	—		合計	27市町	106	2,973	31	955	
								28年度	34市町	114	3,370	32	1,041	

4 外来患者の状況

- 平成29年度の外来患者数は、延べ3,739人、1か月当たり平均患者数311.6人で、平成28年度（延べ患者数4,200人）に比べて約11%減少した。
- これは、平成29年12月に発生したインフルエンザによりリハビリ訓練を停止したことや職員の産休に伴い、患者の受入れ調整を行ったことによるものである。

1か月当たり外来患者数の推移



Ⅲ 法人・施設の運営管理

1 理事会・評議員会の開催状況

【理事会】

開催日	議 題
29.6.1	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度事業報告について・平成28年度収支決算報告について・役員及び評議員の報酬規程の制定について・理事選任候補者の提案について・監事選任候補者の提案について・定時評議員会の招集について
29.6.20	<ul style="list-style-type: none">・理事長の選任について・顧問の委嘱について
30.3.27	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度補正予算について・平成30年度事業計画について・平成30年度予算について・評議員選任候補者の推薦について・経理規程の改正について・育児休業規程の改正について・特定個人情報取扱規程の改正について・給与規程の改正について

【評議員会】

開催日	議 題
29.6.20	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度決算及び事業報告について・理事6名の選任について・監事2名の選任について・役員及び評議員の報酬規程について

2 職員の状況

(1) 採用、退職の状況

- ・ 採用…看護師9名、療育職員3名、医師1名、理学療法士1名の合計14名の職員を採用
- ・ 退職…看護師3名、療育職員2名、理学療法士1名、医師1名の合計7名の職員が退職
- ・ 事業の安定的な運営やきめ細かなサービスを提供するため、適宜必要職種の採用に努めてきたところであり、平成30年4月1日付で、新卒の療育職員4名の採用を図ることができた

(2) 職員数（平成30年4月1日現在）

部 門	常勤職員数	非常勤等職員数	合 計
医 療	4	54	58
看 護	38	4	42
療 育	17	1	18
発達支援	1	—	1
心理支援	1	—	1
リハビリ	6	—	6
薬 剤	1	74	75
栄 養	1	—	1
相 談	1	—	1
事 務	4	1	5
合 計	74	134	208

(3) 研修の実施・参画

- ・ 職員の資質向上を図るため、認定資格取得のための講習会への参加や外部の専門研修への参画をはじめ、施設内での研修会・勉強会を積極的に実施した。
派遣研修の延べ参加者数91人
- ・ 小児在宅医療支援研究会等の各種研究会や各学会などへの積極的な参加を促進し、日ごろの研究成果を発表するなど職員の自己研鑽の取組みを支援した。
各種研究会・学会延べ参加者数52人

3 実習生の受入れ

- ・ 平成29年度は、次のとおり実習生の受け入れを行い、地域の医療人材の育成に貢献した。

学校名	受入れ人数
所沢看護専門学校	28人
埼玉医科大学保健医療学部看護学科	14人
埼玉医科大学総合医療センター附属看護専門学校	80人
埼玉医科大学短期大学看護学科	10人
埼玉医科大学保健医療学部理学療法科	1人

4 各種委員会の活動

- ・ 組織横断的な職員が参画した委員会により、業務の企画、調整、情報の共有など、効果的・効率的な事業・業務の推進に努めた。

名 称	目的・内容	開催回数
医療安全対策委員会	医療安全対策の総括、安全管理体制の確保・推進	1 2
感染対策委員会	感染予防対策の推進	1 2
褥瘡対策委員会	褥瘡予防対策の推進	1 2
栄養管理委員会	入所児の栄養管理	1 2
教育委員会	職員研修の企画・立案	1 0
災害対策委員会	施設の防災管理、消防計画に基づく訓練の実施	1 2
記録情報委員会	帳票、電子媒体等の運用基準の検討、広報活動の推進	1 2
行事・レク委員会	施設行事、レクリエーションの企画・立案	9
虐待防止委員会	虐待被害の早期発見、家族支援等の検討	9
安全衛生委員会	職員の安全と健康を確保、快適な職場環境の創出	1 2
運営会議	施設運営にかかる重要事項の検討、決定	2 3